

農業の道を未来へ切り拓くために

Agri Road

アグリロードながおか

長岡市担い手育成総合支援協議会（事務局／長岡市農林水産部 農水産政策課）

No.43

2025年9月30日
発行

特集

農業情熱ランナー ～挑戦への道～

「地域への恩返し」 ～中山間地域の 新規就農者の挑戦～

[information]

- 中山間地域の農業を応援
- 令和7年3月31日に「地域計画」が策定されました
- きちんと対策！NO作業事故！
- 新潟県みどり計画実践加速化支援事業のご紹介
- 認定農業者制度について
- 農業仕事（のらばいと）体験談インタビュー

[農政VOICE]

三者共存共栄

中山間地域の農業を応援

長岡市では、中山間地域に位置する各集落において、農地の維持及び地域の活性化に対する支援制度や生産物のブランド認証を実施しています。ぜひご利用ください。

中山間地域ブランド「NAGAOKA MOUNTAIN GIFTS」

中山間地域で栽培されたお米をはじめとする農畜産物とその加工品に対して、長岡市がブランド認証し、ロゴマークの提供やプロモーション活動など販売を支援します。



●対象産品

集落協定（※）の構成員が生産した農畜産物とその加工品が対象となります。

●対象者

集落協定（※）の構成員に加えて、加工品製造業者や販売事業者も対象となります。

※集落協定とは、中山間地域等直接支払制度に取り組み農業者等の間で締結される協定です。

長岡産食材ブランディング委員会事務局
（長岡市農水産政策課次世代農業推進係）
TEL.0258-39-2223

お問い合わせ

令和7年3月31日に 「地域計画」が策定されました

地域計画の内容は、市ホームページにてご確認ください。以下のサイトをご覧ください。

今後、毎年見直ししていき、更新をしていきます。その際には、市ホームページでお知らせします。

なお、補助事業等において「地域計画に位置づけられていること」等が要件となる場合があります。地域計画の変更には期間を要するため、早めの確認、ご相談をお願いします。



「長岡市 地域計画」で検索

長岡市 地域計画

検索

地域計画
地域計画の概要
地域計画の策定
地域計画の更新
地域計画の活用



きちんと対策！ NO作業事故！

収穫作業が集中する秋季には、例年、農作業事故が多く発生しています。トラクターやコンバインなどの機械作業に限らず、脚立からの転落など農機以外の事故にも注意が必要です。事故を未然に防止するため、あらゆる事故を想定し、安全のポイントを意識した上で農作業に臨みましょう。



安全のポイント（例）

＜農機作業＞

- ヘルメット・シートベルトの着用徹底
- ほ場の出入り口などの段差や傾斜の確認

＜農機以外の作業＞

- 脚立の天板上での作業禁止
- 帽子の着用やこまめな水分・塩分補給等の熱中症対策

新潟県みどり計画実践加速化 支援事業のご紹介

化学肥料から有機資材等へ転換するなど、特別栽培農産物等の拡大面積に応じて支援を行います。

■支援対象の取組

令和7年度または令和8年度の特別栽培農産物等の作付面積が、前年と比べて1a以上拡大

※令和7年度が令和6年度と比べ減少した場合、令和8年度が令和6年度を上回る分が支援対象になります。

■支援単価

拡大面積に応じ、**10aあたり最大7,500円**

■特別栽培農産物等の要件

下記のいずれかに該当するものが対象です。

- 国の「特別栽培農産物に係る表示ガイドライン」に基づく特別栽培農産物
- 新潟県や市町村・JA等の第三者認証を受けた特別栽培農産物
- 有機農産物（JAS認証を受けたもの）



申請される方は10月10日（金）までに下記お問い合わせまでご連絡ください。

お問い合わせ 農水産政策課農産係 TEL.0258-39-2223

認定農業者制度について

認定農業者の有効期間は、5年で満了します。更新を希望する場合は、農業経営改善計画の認定申請手続きが必要です。有効期間満了時の6か月前に案内を郵送しますので、提出期限をご確認の上、手続きをお願いします。更新を希望されない方も、各種支援事業・制度への影響が無いをご確認をお願いします。

また、農林水産省が提供する『農業経営人材育成研修プログラム』の受講や『農業経営財務分析システム』を積極的にご利用ください。受講は無料です。



『農業経営人材育成研修プログラム』

経営戦略の作り方や経営管理に必要な知識やスキルを学べるオンライン研修！



『農業経営財務分析システム』

農林水産省が提供する簡単に財務分析ができるシステムです！



農政VOICE

みなさま、令和7年度米の作柄や品質はいかがでしたか？様々な不安の中で、原稿を書いています。農業者も消費者も「素直に」喜べる豊作の秋となるように期待しています。

さて、農業が大きな転換期を迎える中で、経営のヒントをご紹介させていただきます。それは、「三方よし」の考え方です。三方よしとは、「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」の三方が満足している状態を言います。これは、近江商人が培ってきた商いの精神であり、企業等が自社の利益追求だけでなく、社会の利益まで考える経営哲学として、現在でも多くの企業を取り入れています。そして、三方よしは順番が大切と言われており、近江商人たちはまずは、自分たちが満足した状態で、商品やサービスに自信を持っていなければ、消費者や世間を本当に幸せにすることはできないと考え、「売り手よし」を一番としていまし

三者共存共栄

長岡市農林水産部長 波形 隆一

た。その考え方から、農業の三方よしとは何かと思いをめぐらすと、まずは正当な利益を得ながら、自信を持って農産物を生産販売し、そしてそれが消費者にとっても満足や納得感という利益をもたらす、最終的には地域の持続的発展につながるということではないでしょうか。

今後、国は米の増産に舵を切ると聞いております。高い品質と生産量を誇る米どころ長岡としては、自信を持って主食用米の増産に取り組んだ上で、地元にある食品産業が求める加工用米・酒米などのニーズにも応え、市民をはじめ全国のお客様に、長岡産米のおいしさをご飯やお酒、お煎餅やお餅など、様々な形で味わっていただきたいものです。長岡産米をもっと食べる、もっと使う、だから、もっと作るという米どころの「よし」を長岡から力強く進めていきましょう。



「地域への恩返し」 中山間地域の新規就農者の挑戦

長岡市では、現在6名の認定新規就農者がいますが、そのほとんどが中之島地域のれんこん作の就農者です。水稲や園芸での新規就農者が数少ない中で、今回、川口地域で水稲と園芸を複合経営され、認定新規就農者となった樋口広大さんを紹介し

就農までの道

おじいさんが農業をされていたこともあり、幼少期から田畑に行き、もともと農業が身近な存在であった樋口さん。近所の方からトラクターに乗せてもらったことをきっかけに、はじめは農機が好き、という気持ちから始まり、次第に、農機を見たり、いじったりしていくうちに農業は楽しい、面白い、と思うようになったといふ。

「地域の農業者が離農して耕作放棄地が増えていくのはつらい。自分が現場に入り、農地を守り、次世代に繋げていきたい。」という思いから、就農に至る。

農業の学びかた

農業をするために農業高校、農業大学校へ進み、農業の基礎を身に付けた。作物の栽培指針、県外の主要な産地の情報などを参考にするため、インターネットサイトも駆使。しかし、現場では学問通りにはいかないことも当然あり、近隣農家やJA、県の普及指導員から指導を仰ぐようにしている。



樋口 広大 さん

平成15年生まれ。川口地域で生まれ育ち、農業高校、農業大学校で農業を学ぶ。令和6年春に、自営就農。水稲5ha、園芸49a(モロヘイヤ・ナス・アスター等)を経営。JAや直売所へ出荷している。

まずは、やってみる

樋口さんの栽培理念は、まずはやってみる、ということ。「PDC Aサイクル」と言いますが、自分としては、Dから始めるサイクルだと思っている。学問は学問で大事だが、現場は現場。まずやってみる。「樋口さんは、常にチャレンジしている。」

先輩から教わった「作物に聞け」

周辺農家の先輩は、指導をする際「あくまでも、俺の圃場の場合はこう、としか言えないから」と注意を添える。同じ地域でも、必ず同じ条件とは言えない。今年成功したことが、必ず来年もそうなるとは限らない。そんな先輩農家から学んだこと、それは「作物に聞け」。「作物を、毎日観察すること、毎日見ること。何を欲しがっているのか、作物を見る。手をかければかけたように、手を抜けば抜いただけになる。」と樋口さんは話す。作物もいきもの。まるで子育てのような接し方で、毎日作物と向き合っている。

担い手不足へ農業DXの活用を

新規就農者の補助事業を活用し、KSASに対応した直進アシスト機能付きトラクターを導入した。自力導入をしたKSAS対応の田植機と併せて、地力や、品種ごとに圃場を区分けし、施肥や除草剤の種類・量だけでなく、作業の進捗管理などと併せて、農業経営の「見える化」を進めている。これにより、



地力マップ、生育予測機能を活用し異常気象に対応できる農業生産体制の強化と、営農管理システムにより、圃場をデータ管理することで、無駄のない農業生産に取り組む。

恩返し of 農業を

「地域、食卓に、笑顔が増える農業経営を目指している。」と話す樋口さん。その根底にあるのは、地域の方への感謝の思いだ。幼い頃から地域の方々に温かく育ててもらったおかげで、今日の自分がある、という。「今後とも指導をいただきながら皆さんの期待に応えられるような農業経営を行っていきたい。川口地域の農業を守っていきたい。そして、さらに次の世代につないでいきたいですね。」そう語る樋口さんのまなざしは、地域への恩返しの気持ちを胸に、すでに何十年も先を見

人手不足
解消に

短期アルバイトを活用してみませんか!

長岡市が作った「働く」と「体験」をつなぐアプリ

農楽仕事 のらばいと

体験談 インタビュー



2022年から農楽仕事に求人募集を出し、7割以上の募集でマッチングが成立している久保農園(脇川新田町)の久保和喜さんにお話をうかがいました。

Q どのような方からのお問い合わせ・お申込みがありますか?

A 大学生、Wワークを希望の方、スキマバイト希望者など。昨年度は男子学生、今年は女性からの問い合わせが多いです。



Q 求人募集を出す際の工夫はありますか?

A とにかく求人情報をアプリに載せることが大切だと思います。アプリに掲載後すぐは、新着情報がアプリに通知されるためか、多くのお問合せをいただけます。

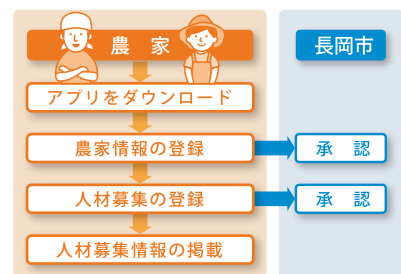
Q のらばいとでマッチングされた方は、その後もアルバイトに来ていただいていますか?

A 2〜3年前からの方を含め、現在、6〜8名の方に引き続きアルバイトに来てもらっています。曜日固定で来ていただいている方もいます。



▲作業の様子

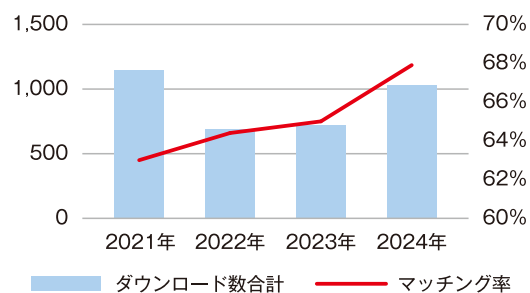
長期的な雇用を見据えている方から、1日限りのお手伝いを探している方まで色々な求人募集を出していただけます。ぜひご活用ください。



アプリ
ダウンロードは
こちらから



ダウンロード数とマッチング率の推移



問い合わせ先

担当：農水産政策課 担い手育成係
TEL.0258-39-2223

直近の求人内容

農産物生産のお仕事

作業内容 春は種まきなど作付けの準備作業
夏秋は収穫、選別、出荷のお仕事です
主な栽培品目は お米、枝豆、長ネギ、
小ネギ、キャベツ、里芋などです
美味しいお土産付きです

人材募集のポイント 初心者大歓迎 屋内作業 屋外作業
友達同士OK 短期OK 土日のみOK

アルバイトの方から



学生・女性

一緒に働いている皆さんが優しい方ばかりで楽しいです。農業のアルバイトは数少ないので、興味がある人にとっては良い経験になると思います。

農業経験なしでアルバイトをしています。収穫した野菜をお店に送り出すときに楽しさを感じています。60代でもできます!



60代・男性



【長岡市公式の人材マッチングサイト】

ながおかマッチボックス

- ◆アカウント登録、求人掲載は「無料」
- ◆費用は採用があった時だけ!

ながおかマッチボックスの現状実績



※2025年6月末時点

マッチボックスを利用した方の声

事業者 求人を出してすぐに7〜8件応募が来て驚きました。作業に関しては、未経験者でもできる苗並べや機械へのセットなどを準備しました。

求職者 「今までにない農業経験が気軽にできる!」「新たな体験ができ、興味が湧きました!」

詳細は「ながおかマッチボックス事業者向けサイト」またはサポートセンターへお問い合わせください!

問い合わせ先

サポートセンター TEL.050-5536-4648

事業主体 商工部 人材・働き方政策課



▲事業者向け
サイトはこちら